

目標達成計画

作成日: 令和 3 年 1 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	入居中の利用者や家族だけでなく入居を検討している本人や家族のニーズに応じていくためには現状では出来ないことや他機関との協働が必要な場合があり十分に答えることが出来ていない。	相談援助に関わる段階からクライアントにとって最善の支援を行えるよう自施設だけの問題とせず、良質な切れ目のない支援を目指していく。	地域の福祉関係者、医療機関、ボランティア団体、地域住民等との話し合いの機会を設けて自施設の多機能化、他機関との協働に取り組んでいく。	12ヶ月
2	13	日々の業務中や定期的な勉強会で職員のスキルアップを図っているが個々に合わせた体系的な方法が確立されておらず、個々の力量の差が顕著になってきている。	システム化された研修の機会・方法を確立し職員全体のスキルのベースアップを図り、職員のやる気と自信を支援していく。	外部研修機関との連携やDVD教材を撮り入れ積極的に参加を促していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。